

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～27℃台を示し、やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.8トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり0.3トンの水揚げ（前年を下回った）。
- イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり2.1トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり112kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では漁が再開され、カマスなどが1日1統当たり165kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり60kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり143kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。
- トビウオ船曳——北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり208kgの水揚げ（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/10～9/16の7日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、大和堆付近、佐渡沖で操業。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、今期も海況が悪く出漁船僅か、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港なし。今期も海況が悪く僅かな漁獲であった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-26号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>